

# 布津笑楽校だより

第3号

令和6年6月14日  
南島原市立布津小学校  
文責：校長 横田 秀富

1学期もあっという間に6月半ばとなりました…。去る6月3日には、雲仙岳災害記念館前に並んだ祈りの灯のキャンドル(4年生での取組)とともに平穏な日々が続くように祈りを捧げました。もうすぐ梅雨入りでしょうか。例年よりも気温が上昇し、蒸し暑い日もありますが、運動場で遊んでいる子どもたちの姿を見ると、子どもは元気だなと感じます。今週からいよいよ水泳学習も始まりました。晴天の日が多く、水の中は、少し肌寒さも感じるようですが、元気に学習をしています。

さて、6月は、17日(月)～23日(日)までの期間において「長崎っ子の心を見つめる教育週間」です。教育週間中は、すべての教育活動を公開しております。ご都合よろしければ、ぜひご来校のうえ、児童の学習の様子をご参観ください。(21日(金)5校時は、全学級、道徳の授業を行います。)

学校では、「命」について学ぶ学習の一環として、野菜や植物を各学年で栽培しています。毎朝、水やりをし、日々の成長を確かめることは、日常の中で「命」を感じる大切な機会だと考えています。

また、水泳の学習では、学年に応じて泳ぎ方を身に付けることも大切ですが、何よりも水の事故に遭わないように、自分の「命」を守るための学習であることも指導していきます。ぜひこの機会にお子さんと「命の大切さ」についても話題にしていいただければ幸いに存じます。

## 布津笑楽校ミニ日記



### バッタの赤ちゃんを助けたさりげないやさしさが、すてきです…

5月のある日のこと。校長室前廊下から学級園を眺めていると、「校長先生、バッタの赤ちゃんが水につかっていたので、助けてあげました。」と、指に乗せた2cmほどの大きさのショウロウバッタの赤ちゃんを見せてきました。「やさしかねえ～」と声を掛けると、にこりとほほえんでいました。私が、「踏まれたりしたらかわいそうだから、餌になる草があるところに放してあげたらいいね。」と言うと、「はい」と言って、その小さくてかわいいバッタを逃がしていました。小さい「命」に気付き、大切にできる「心」がとてもすてきです。こんな「思いやりのある子」いっぱい布津小学校にしたいです。

### 5/28 プール清掃(4・5・6年)

午前中雨のため、実施できるか心配しましたが、午後には雨も治まり、晴れ間も見えて、無事にプール清掃を実施することができました。事前にプールの管理人さんが道具の準備や周辺の清掃をしてくださっていたことで、昨年度よりも大変短時間でプール清掃を終えることができました。水泳学習で全校が使用するプールを高学年がしっかりときれいにしました。透き通った水の張ったプールでの学習が楽しみになりました。

### 6/4 プログラミング学習(6年)

ミナサポさんのICT支援により6年生がPepperを使ってのプログラミング学習に取り組みました。ICT支援員さんの説明を聞き、児童は学習用タブレット端末を使って、プログラミングに取り組んでいました。シーンとした中で夢中になって取り組んでいました。生活の中でも随所にコンピュータが活用されている現代。貴重な学習の一つです。ITに関わる進化は日進月歩です。私はついていくのがやっとです…。

### …子育てのヒント… 子どもも親も幸せになれる言葉から

昔の道歌(道徳的な教訓を詠みこんだ歌)には、次のような言葉があるそうです。

「2つ叱って、3つほめ、5つ教えて良き人となせ」

子どもと生活するうえで、叱ることも、ほめることも、教えることもすべて必要なことです。そしてバランスが大切です。叱るときは短く真剣に叱ってさっぱりと終わらせること。「どうしてわからないの!」という激情型や「お願いだから…」という懇願型の叱り方、「約束したでしょ!」など証文を突き付ける叱り方は、あまりよくありません。